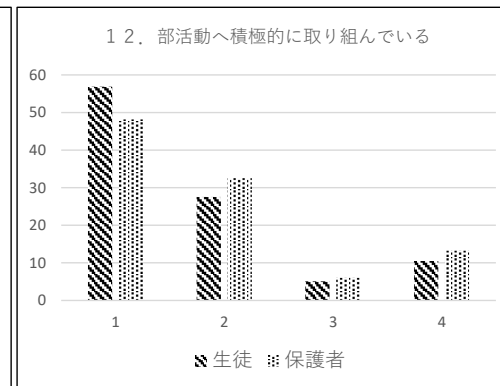
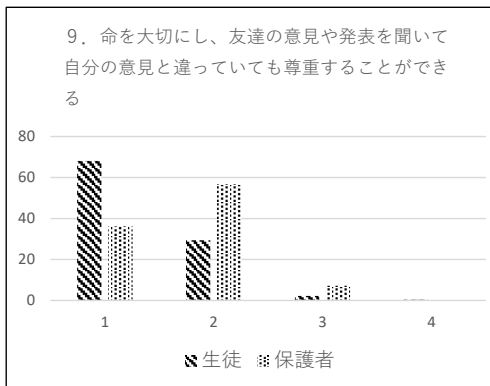
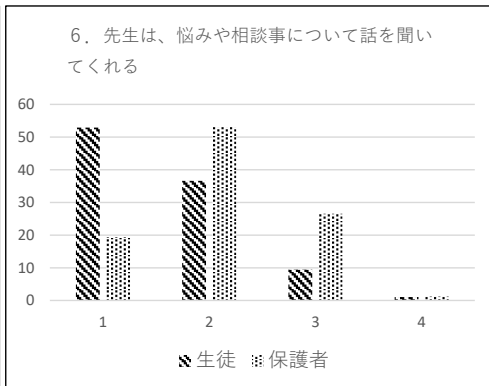
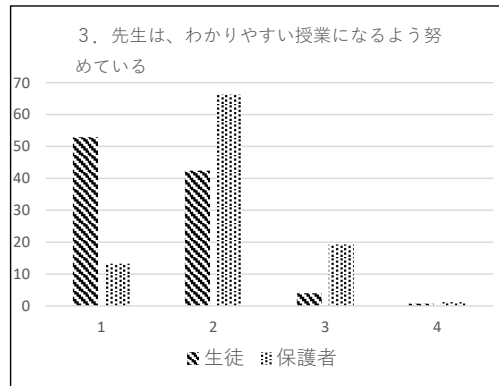
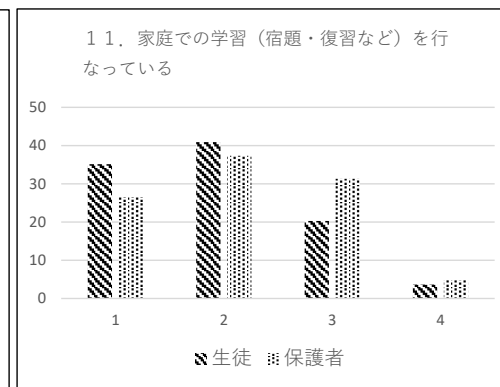
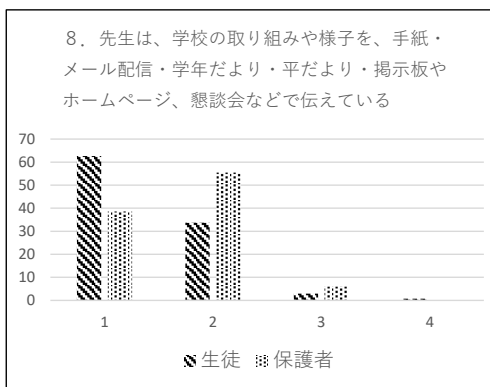
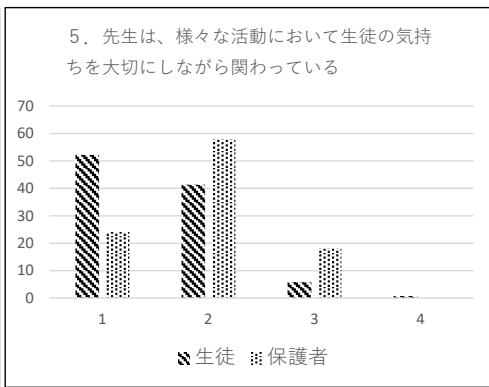
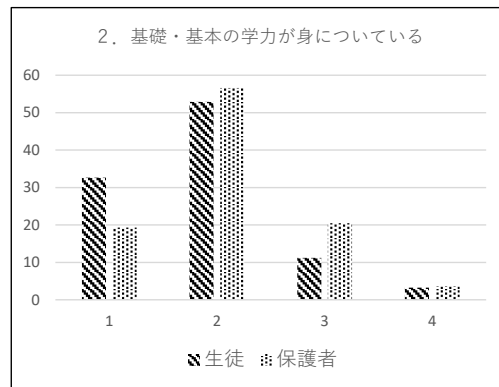
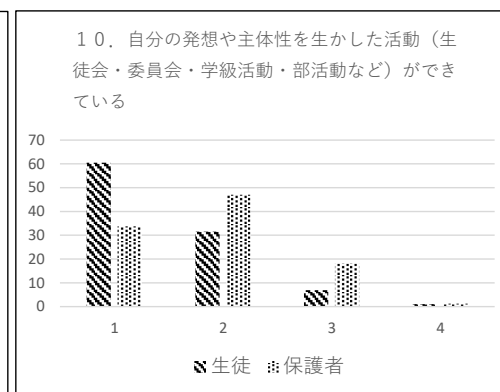
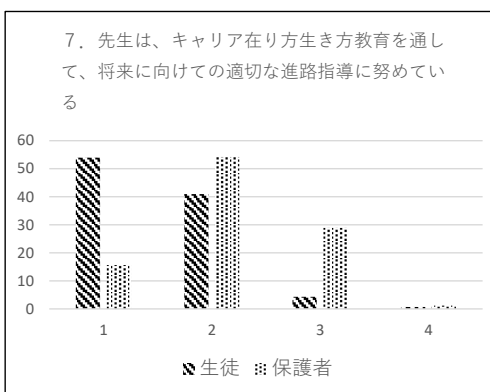
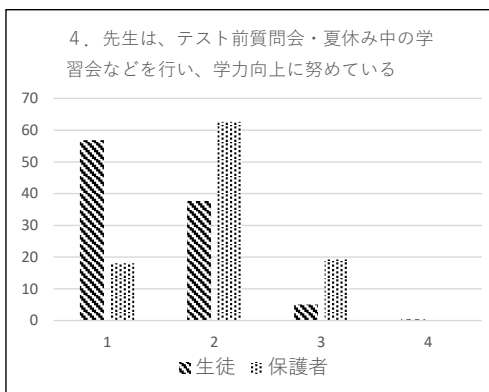
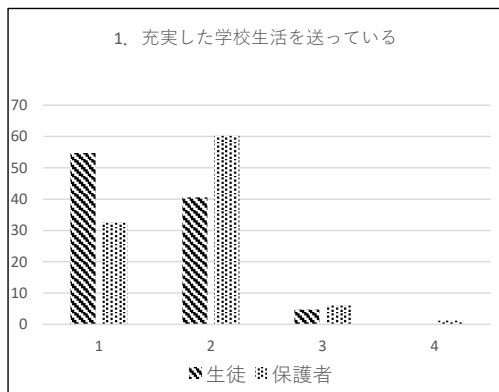


# 令和5年度 学校教育に関するアンケート及び学校経営自己評価結果 (No.1) 川崎市立平中学校

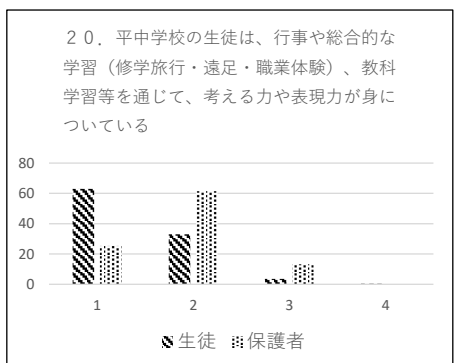
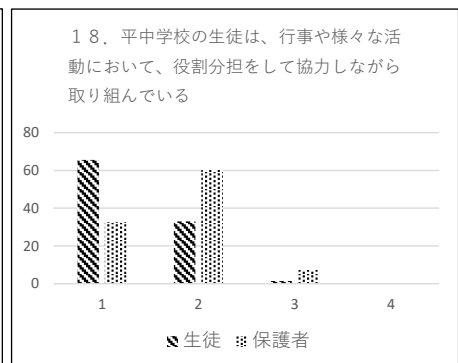
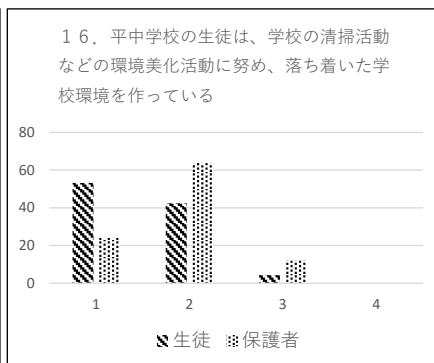
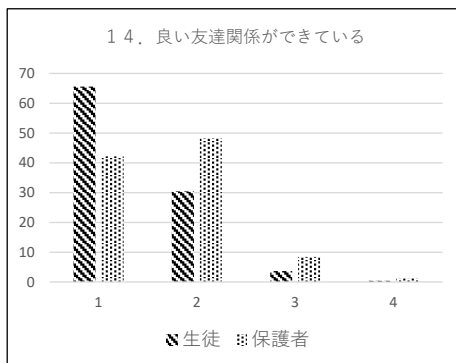
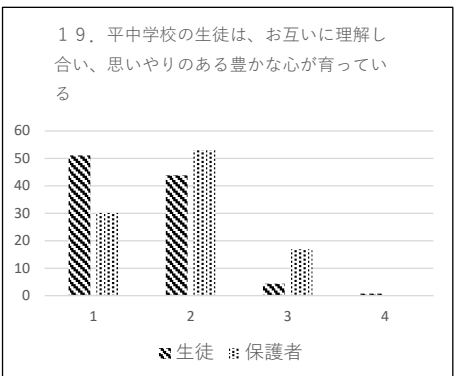
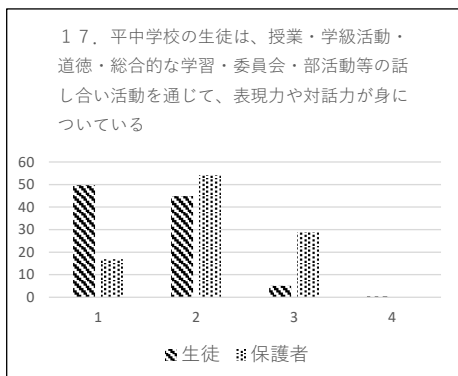
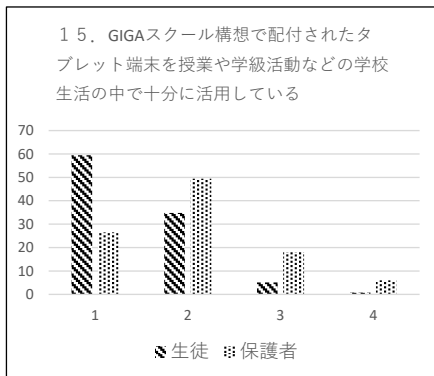
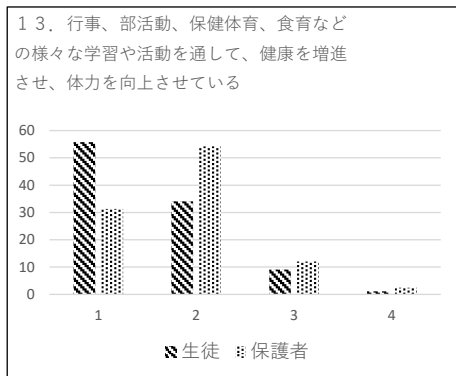
★ アンケートへのご回答有難うございます。いただいたご意見をもとに、次年度の教育方針に反映させていただきます。今後ともご理解ご協力のほど、宜しくお願いいたします。

★ グラフの見方…1-「よくあてはまる」、2-「ややあてはまる」、3-「あまりあてはまらない」、4-「全くあてはまらない」。縦軸の数値は回答者のパーセンテージ(%)を表します。



# 令和5年度 学校教育に関するアンケート及び学校経営自己評価結果 (No. 2) 川崎市立平中学校

★グラフの見方…1-「よくあてはまる」、2-「ややあてはまる」、3-「あまりあてはまらない」、4-「全くあてはまらない」。縦軸の数値は回答者のパーセンテージ(%)を表します。



●令和3年度より全面実施となった新学習指導要領の方向性として重視されている「主体的・対話的で深い学びの視点からの学習過程の改善」を念頭に置き、教職員は、魅力があり、わかりやすい授業を目指してきました。アンケート結果より、「考える力」や「対話力」が身についたと思う生徒は増加していますが、保護者と結果の違いが若干みられます。各教科の基礎的な学習内容を定着させ、さらに発展的な力を伸ばすために、今後も継続して学習形態や指導の工夫について研究を重ね、対話力や表現力を育成してまいります。

●キャリア在り方生き方教育、人権尊重教育、SDGsへの取り組みを通して、命の大切さや、互いを理解し合い思いやりのある「心の教育」の育成に取り組んできました。生徒のアンケート結果から、ねらいが生徒に伝わっていると考えます。

●学校行事の実施について、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行を受け、安全管理に努めながら、できる限り実践活動・体験活動を実施しました。学校は、生徒主体の活動となるよう企画・運営の支援に努め、共生・協働の精神の育成を図ってきました。アンケート結果から、生徒は行事や様々な活動に対し、仲間と協力し、自分の発想を生かしながら積極的に取り組んでいたと考えます。部活動においても、健康や体力の向上を感じています。今後さらに、実施方法など改善を検討してまいります。

●学校では、日常生活指導の充実と定期的な教育相談を実施し、生徒に寄り添い傾聴する機会を大切にしています。また、生活アンケート調査を実施し、いじめ等の未然防止に努めています。その結果、生徒からは良い友達関係を築いているとの声が多かったものの、保護者との連携などにまだまだ課題を感じる回答もあります。今後も学校は、生徒や保護者の考えを知り、共有しながら、保護者とともに生徒を育成する姿勢で教育活動を進めていくことが必要であると感じます。

●教育懇話会・保護者・学校が連携し、地域・保護者と生徒がともに活動する場を企画・運営することで、地域とともにある、信頼される学校づくりを推進しました。三者で行うことで、地域に育つ生徒を育み、思い出に残る行事ができるよう工夫された温かみのある活動ができ、多面的に生徒の成長を見守ることができました。また、学校教育推進会議・地域教育会議と連携し、生徒の発表や報告をする機会をもたせていただくことで、生徒が達成感を感じ、今後の教育活動への自信につなげることができました。

### ＜まとめ＞

「生徒一人ひとりを大切に作る学校」づくりを柱とし、「社会的自立に必要な力の育成」「共生・協働の精神の育成」「家庭・地域との協力関係の推進」「地域を生かした学校づくりの推進」を重点目標として学校運営を進めてきた。生徒は、おおむね充実した学校生活を送っているといえる。今後も、自ら学び、思いやりのある人になるよう教育を実践していきたい。

生徒の回答では「よくあてはまる」が最多の項目が多いが、保護者の回答では「ややあてはまる」がほとんどの項目で多い。学校は、コロナ禍を経て、以前の教育活動を現在の状況に鑑みつつ企画しなおし運営したが、まだ保護者の方々と共有が十分にできているとは言えないのではないか。今後さらに、生徒たちの成長を保護者・地域・教職員で共有できる機会を増やししながら、地域の方々や保護者の方々の意見を多く聞き、より良い教育活動を展開していきたい。